

## 「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 芝原区

日 時 平成 22 年 1 月 28 日(木) 19:00～21:01

場 所 芝原公民館

出席者 (市 民) 34 人  
(執行部) 14 人

井上市長、平島副市長、關教育長、木村総務部長、  
三笠協働のまち推進担当部長、松永健康福祉部長、  
新納建設経済部長、宮原上下水道部長併会計管理者、  
山田教育部長

(事務局) 今泉経営企画課長、齋藤広聴広報係長、高原主任主  
査、諫山協働のまち推進課長、藤田地域コミュニテ  
ィ推進係長

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- 1 開会あいさつ(経営企画課長) 19:00～
- 2 区自治会長あいさつ(区自治会長) 19:02～
- 3 市長あいさつ(市長) 19:04～
- 4 市職員自己紹介(経営企画課長) 19:08～
- 5 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) 19:11～
- 6 「懇談」質疑・意見交換(経営企画課長) 19:26～  
(別紙)
- 7 閉会あいさつ(副市長) 20:59～21:01

	発言の主旨	回答
意見 1	<p>消火栓の設置場所は適切か。芝原区の道路が狭いため、消防車が火元まで行くのは困難である。住民不安を取り除くため、どのような消防マニュアルが整備されているのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>芝原区は道路が狭隘で、一旦火災が発生するとご指摘のとおり危険です。平成 13 年に火災も発生しております。マニュアルの作成は行政の責務でもあります。また地域住民の皆さんと一緒に作っていくべき事項と思います。市民の皆さんの財産生命を守ることが第一義的です。自衛消防組織もありますが、消防機材を活用しながら行うことになります。大きな車両は入れなくても、消防組合には 4m ぐらいの道路でも進入出来る消防車もあります。または、消防車両に搭載されているホースカーがあります。消防団の車両は狭い路地で有効に活用できるようなポンプを自由に載せたり降ろしたりできるような車両も数多くあります。</p> <p>敷設された水道管の口径が小さいという指摘もございます。万全までは行きませんが、消失しないように、市民の皆様が安心して暮らせる状況づくりだけは最低限行っています。消防団も絶えず訓練を行っています。</p>
意見 2	<p>災害時の避難場所の在り方として、現在の建物は現状で充分なのか。一次避難場所になっているが、その表示を玄関側に設置している。住民目線でいうと道路側にその表示がない。不都合ではないか。</p>	<p>(市長)</p> <p>第一義的には公民館が避難場所です。地震、水害など大きな災害の場合は学校、公共施設等が広域避難場所となります。昨今のゲリラ雨に耐えうるような整備も今行っています。御笠川も 25m から 50m に幅を広げ、四王寺山も砂防ダム、治山ダムを財政投入しながら要望しています。国、県併せて 100 億程四王寺山に投入しています。市民の</p>

		<p>皆さんにご心配かけるようなことは最小限となるよう取り組みをしています。新たな避難場所は、既存の施設を利用しながら行っていく必要があると考えております。</p> <p>案内板はご指摘のとおりと思います。市民の皆さん誰も分かるように、また絶えず訓練を行っておくことが必要と思います。案内板は自治会長さんとの協議の中で設置に向けて行って参りたいと思っています。平成15年度の災害を教訓に平成22年度予算で防災専門官を採用する予定です。</p> <p>地域の状況は、皆さんが地域の中で一番詳しい訳ですので、災害時に独居老人が取り残されたりということがないよう優しい気配りで防げるのではと思っています。</p>
意見3	まほろば号の運行について芝原区はあまり恩恵がない。高齢者も多くなったので、西鉄二日市駅東口から市役所方面への路線を新設できないか	<p>(市長)</p> <p>まほろば号の運行については、交通弱者の外出支援を位置付けしています。ご指摘のように恩恵を受けていない地域もあると思います。運行を開始した当初は、交通空白地域から優先して整備しました。結論から申し上げますと西鉄二日市東口から市役所への路線を今西鉄と協議中です。宇美線の廃止を補うため都府楼線を開設しました。将来的には何らかの形で通したいというイメージは持っております。現在宇美線を延長できないかという形で交渉しています。東観世は高齢化率も高く、マミーズから企業協力を得てマミーズまほろば号を走らせています。幾分かガソリン代相当分を支給しています。もうしばらく推移を見守って頂き</p>

		たいと思います。芝原区も高齢化率が28.5%で市の平均を超えていますので、早いうちから対策を取って行きたいと思います。
意見4	高齢者が増えている。独居高齢者世帯の増加に対して、太宰府市全体の問題と思うが、今後の行政の施策・方針は。	<p>(市長)</p> <p>独居高齢者世帯が増加しています。優先事項の一つと思っています。40年代50年代本市のまちづくりを支えていただいたのは、いわゆる高齢者の方と思います。市に貢献して頂いた方を大事にすることは当然です。可能な限り行って行きたいと思います。平成21年度事業として「いきいき元気教室」を開催しています。</p> <p>また民生委員の方と意見交換しながら、独居老人の世帯の実態把握をしていただきたいと思います。問題点の解決もそこから見えてくるのではと思います。自治会におけるサロン教室などにも補助金を出しておりますので、活用していただきたいと思います。</p>
	行政の各自治体への出前講座メニューの現状と今後の方針は。	<p>(市長)</p> <p>知りたいところがあればいつでも申し出をして頂いて結構だと思います。一緒になってまちづくりを行っていったらいいのではと思っています。</p>
意見5	西鉄二日市駅東口前の道路が整備され、人の流れが変わった。不自由になった。踏み切りを車で通られなくなった。90歳の姉がダイエーに行き、荷物を持ってないためタクシーで帰る。高齢者はある程度近くでもスーパーに向くのは困難である。団地内の小さな店舗も成り立つようなまちづくりを考えたい。	<p>(市長)</p> <p>どこの地域でも同様です。今おっしゃってあるのはコンパクトシティと言われています。近辺の中に生活に必要なものが揃ったまちづくりが言われています。ある程度近い形で実現したのが、通古賀区画整理地域です。芝原区は交通の便は他所の地域に比べていい方です。スーパーもあります。</p> <p>踏み切りの問題は西鉄の意向もあり、</p>

		<p>苦渋の選択をしました。陳情などがあつたことも承知しています。芝原区の皆さんの外出支援を行うかということになってくると思います。バスを利用してお買い物できれば利用していただき、歩行が困難になれば他の形での支援を考えていく必要があると思います。</p>
	<p>子どもについて。空き地がないため、道路でキャッチボールしている。自宅と隣に 200 坪ほどの空き地がある。市が無償で借地し、子どもの遊び場として整備できないか。</p>	<p>(市長)  明日にでも現場を見せて頂き、所有者を調査し、可能かどうか調査したいと思います。お約束はできませんが、自治会長さんとも協議しながら、購入が可能かどうか含めて検討したいと思います。</p>
<p>意見 6</p>	<p>災害の内容によっては、災害時の避難所として公民館が指定されているが、避難するとかえって危ない。公民館を建替えるにあたって補助はあるのか。</p>	<p>(市長)  どうしても公民館でだめな場合は、他の近隣の公共施設や民間施設をご利用いただけたらと思います。時折の状況で判断していただくことが重要と思います。ダイエーと行政が予め契約するようなことも検討する必要があります。平成 15 年の災害を教訓に図上訓練も行っていたことも大事です。平成 15 年の災害で職員も様々の経験しておりますし、今後は防災専門官とも連携してやっていきたいと思っています。  公民館の建替え補助については、1000 万円の補助制度があります。高齢者の部屋を増設する場合は 400 万の補助があります。</p>
<p>意見 7</p>	<p>榎寺周辺の道路整備について。榎寺前の踏み切りが開かずの踏切となることがある。西鉄との協議を含めた今後の見通しは。</p>	<p>(市長)  西鉄二日市駅西口からの道路についても筑紫野市との合同でやらなければならないと思いますが、西鉄沿線の道路が狭い状況です。西鉄との協議が必要</p>

		<p>と思っています。カトリック幼稚園前の道路拡幅の問題については県と協力して着手しました。反対意見もありますが、太宰府市の発展のために3号線までの拡幅は必要と考えています。努力をして行きたいと思います。芝原区内の拡幅については、要望を聞きながらやっていきたいと思っています。</p> <p>【画面説明】 市債残高について、経常収支比率について</p>
意見 8	<p>大雨のとき、公民館前上下 50mの道路が冠水する。側溝が詰まっているかどうかは不明である。大雨時排水できるようにすることは可能か。</p> <p>50年ほど前、1m程浸水した。災害のとき避難すると流されるかもしれない。</p> <p>7月の災害で防犯部長とパトロールしたら、鷺田川の水位が排水路より高くなっている。鷺田川がカーブしている所にストッパーがない。そこからオーバーフローして芝原区 2,3 組が浸水する。この問題は、市に対して平成 22 年度要望している。市職員と立ち会って、県へという話しになった。市の予算措置を望む。</p>	<p>(市長) 現場を見て、方法を検討したいと思います。</p> <p>(建設経済部長) 以前から懸案事項として残っています。榎寺住宅の問題もあり踏切から向こう側は、御笠川へ流すようにしました。それで若干の改善が見られましたが、まだ冠水が確認されています。ご連絡いただいて、県職員とも立ち会っており、改善要望行いました。県からは本線が解消されないと難しいと言われ苦慮しています。榎寺住宅との関係もあり、今後も県と協議をしていきます。</p>

	<p>分水する前は、公民館の裏の排水路が流れていた。防火の役にたった実情がある。通常は水がない。用水路を深く掘り、水を溜めることが出来れば防火活動に利用できる。平成 13 年の火災は、それが消火栓よりも役に立った。可能</p>	<p>(市長) マンションが排水をきちっとされてあるのでしょうか。</p> <p>(住民) シティハイツは雨水をポンプアップで排水している。水は当然来ます。</p>
--	---	--

	か？検討してほしい。	(市長) 要所にポンプを据えておく形など検討したいと思います。全体計画が必要です。
	自宅の下のマンション(シティハイツ駐車場)は、土地が低いにもかかわらず水溜まらない。そのような施設はできないか。	
		(市長・上下水道部長) 水道料金の値下げについて
意見 10	飛行機の騒音がひどい。テレビの音も聞き取りにくい。騒音対策をお願いしたい。	(市長) 福岡空港から距離で騒音地域の指定がされています。共同利用施設があるところは地域に入っています。全体的には梯子車の購入などの消防車両の購入も半額補助で行っています。芝原は対象地域ではありませんが、気象状況によっては旋回して降りてくることもあります。市独自の補助はありません。
	国の方に働きかけてほしい。	(市長) 国に対しては、実情を伝えています。
意見 11	芝原区には消火栓が4箇所しかない。消火作業に関して物足りなさを感じる。大牟田線の消火栓は口径が小さいと聞いた。小火災だと間に合うが、大火災だとこの消火栓は使えなくなる。大火災時の対応はどうなるのか心配である。道路も狭隘なため消防車が進入できない。可搬式ポンプも延ばしてくると水圧が下がる。防災会議が毎月1回いきいき情報センターで行われているが、市職員の参加が少ない。市は防災士の人数を把握しているのか。協力	(協働のまち推進担当部長) 水道管が150mm以上の管に付けられたものが消防基準の中の消火栓になります。ただし75mmまでの管で、180m以内であれば消防水利として認められるようになります。上水道が通ったときに管の敷設計画の中で敷設されていきます。残念なことに芝原区内の地域の中は30mmから50mmで埋設されているので、そのような管には付けられません。区内には消火栓が5基と防火水槽が2基あります。ホースカー

	<p>体制が採れるようお願いしたい。</p>	<p>は 200m のホースをつないでいます。4 気圧まで出せます。延焼については、日ごろから消防署の方が図上訓練もしております。</p> <p>防災講座は、市が設置しているボランティアセンターが行っている防災講座のことであると思います。職員が参加しないのではなく、市が講座として市民の方に広く防災についてお知らせするために開催しています。防災士にも参加していただきながらやっています。校区協議会の中でも防犯防災の組織を作って頂いてますので、もしものときの対応について情報交換していただきたいと思います。</p>
<p>意見 12</p>	<p>広報に太宰府市の職員数は少ないと説明があった。住民数に比べ、議員定数が多いと聞いた。一人につき 700~800 万円人件費がかかる。議員定数の見直しについて、市長から提案できないか。</p>	<p>(市長)</p> <p>議会については、今特別委員会が設置されています。太宰府市として民意が反映できるにはどの程度がいいのか決定されると思います。市長が一方的に決める訳にはいきません。18 人、15 人案が浮上しています。議会の自浄作用の中で次の選挙までには出されるのではないかと思います。議会には伝えたいと思います。</p>